

入学者選抜*1

小口 勝司*2

はじめに

大学入試における学力偏重からの脱却が言われて久しい。学力重視に陥ることによる画一的な人間の集まりになり硬直化した組織になることを避け、バラエティに富んだ若者が学ぶ活気ある学園づくりが将来にも栄える大学となると考えられたのであろうが、さまざまな試行錯誤を繰り返すなかで大学入学者選抜が改革されてきたといえる。

18歳人口の減少に伴う大学受験者数の減少傾向が注目されてから優に10年は経つ。現実問題として、確かに18歳人口は1998年の162万人から2001年には151万人と減少しており、大学冬の時代との認識から各大学、特に私立大学は個性を全面に押し出し、受験生確保に躍起となってきた。かかる時代の流れの中で募集定員割れを起こす大学・学部が生じるなど正に大学冬の時代は現実味を帯びてきたといえよう。

1. 医学部志願者数の推移

こうした大学全体の傾向の中で、医療系大学・学部は、医師・歯科医師の過剰問題が言われ、薬剤師6年制教育の問題などもあり、混迷を極めるやに予測もされた。またメディカルスクール構想やグローバル化に対応しようとする社会の要請もあり、帰国子女枠を設けたり、学士編入学制度を国立・私立を問わず取り入れ、また優秀な受験生の早期確保の一環ともいえる推薦入学制度も多くの大学が採り入れるなどして入学者選抜に工夫を凝らしてきた。

しかしながら、わが国のかつてない経済不況、景気の低迷、失業率の悪化などが相俟って若年層

の職業観に変化をもたらし、高度職業専門人を育成する医療系大学・学部の志願者は決して減少傾向にはない。

医科大学・医学部の志願者数は、前回発行本白書の資料によれば、1996年の医科大学・医学部志願者数（推薦入試・編入学・学士入学を除く）は、募集人員6,887名に対し81,985名で対募集人員倍率は11.9倍であった。2001年においては募集人員6,431名に対し78,271名で対募集人員倍率は12.2倍となっている（国公立別では、国立：1996年、募集人員3,740名・志願者数28,591名・倍率7.6倍、2001年、募集人員3,420名・志願者数27,555名・倍率8.1倍、公立：1996年、募集人員660名・志願者数4,964名・倍率7.5倍、2001年、募集人員645名・志願者数4,484名・倍率7.0倍、私立：1996年募集人員2,487名・志願者数48,430名・倍率19.5倍、2001年、募集人員2,366名・志願者数46,232名・倍率19.5倍）。2002年の最新情報では、私立医科大学・医学部の志願者は、前年比5,370名増の51,602名となっている。医学部の人気は衰えていない。

2. 非学力試験

しかし、医師過剰問題は常に論じられており、入学定員削減の遵守、医師国家試験の競争試験化の傾向などは医学教育者の話題から消えることはない。さらに臨床実習開始前の学生にCBTとOSCEを柱とする共用試験を、医師国家試験にもOSCEを導入しようとしているように、医学生に医学の知識や技能・技術に加え態度・マナーを強く要求する時代となりつつある。

これは社会が、高度な専門技術・技能に加え、人間的にも優れている医師像を理想として描いているといえ、プライマリ・ケアの充実が求められたり、大学卒業を医学部入学資格とするメディカ

*1 Student Selection

キーワード：入学者選抜、入学志願者数、非学力試験

*2 Katsuji OGUCHI 昭和大学医学部第1薬理学

表1 2001年入試志願者数等状況

選抜

		募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	倍率			募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	倍率
北海道大学	前期	85	424	409	86	4.8	滋賀医科大 学	前期	65	305	275	65	4.2
	後期	10	248	105	10	10.5		後期	15	234	184	16	11.5
旭川医科大 学	前期	20	168	154	20	7.7	京都大学	前期	90	431	411	93	4.4
	後期	65	806	566	68	8.3		後期	10	229	150	10	15.0
弘前大学	前期	50	392	333	50	6.7	大阪大学	前期	80	342	333	80	4.2
	後期	10	95	53	10	5.3		後期	10	169	80	10	8.0
東北大学	前期	90	421	353	90	3.9	神戸大学	前期	70	423	394	70	5.6
	後期	10	285	86	12	7.2		後期	10	217	148	16	9.3
秋田大学	前期	65	473	437	65	6.7	鳥取大学	前期	40	203	190	40	4.8
	後期	10	204	140	11	12.7		後期	20	192	92	21	4.4
山形大学	前期	45	349	244	45	5.4	島根医科大 学	前期	55	369	336	55	6.1
	後期	20	298	196	20	9.8		後期	10	233	121	10	12.1
筑波大学	前期	55	229	213	55	3.9	岡山大学	前期	80	384	372	80	4.7
	後期	10	143	99	10	9.9		後期	15	283	226	15	15.1
群馬大学	前期	40	391	370	40	9.3	広島大学	前期	80	406	388	80	4.9
	後期	25	483	384	25	15.4		後期	20	143	102	20	5.1
千葉大学	前期	65	253	217	72	3.0	山口大学	前期	55	195	184	55	3.3
	後期	30	300	186	31	6.0		後期	15	104	64	15	4.3
東京大学	前期	80	403	315	80	3.9	徳島大学	前期	65	319	293	64	4.6
	後期	10	157	42	10	4.2		後期	15	203	109	15	7.3
東京医科歯 科大学	前期	65	479	381	65	5.9	香川医科大 学	前期	45	280	252	45	5.6
	後期	10	166	59	10	5.9		後期	25	314	179	25	7.2
新潟大学	前期	65	381	351	65	5.4	愛媛大学	前期	50	297	270	50	5.4
	後期	10	146	78	10	7.8		後期	20	155	88	20	4.4
富山医科薬 科大学	前期	60	313	292	62	4.7	高知医科大 学	前期	35	389	359	35	10.3
	後期	30	292	216	30	7.2		後期	35	430	330	35	9.4
金沢大学	前期	80	538	511	81	6.3	九州大学	前期	85	355	337	86	3.9
	後期	10	136	64	15	4.3		後期	15	160	107	16	6.7
福井医科大 学	前期	55	185	152	56	2.7	佐賀医科大 学	前期	35	319	215	35	6.1
	後期	20	192	102	20	5.1		後期	35	608	204	35	5.8
山梨医科大 学	前期	10	74	26	11	2.3	長崎大学	前期	55	529	490	55	8.9
	後期	75	1,602	604	75	8.1		後期	20	285	210	20	10.5
信州大学	前期	50	126	106	50	2.1	熊本大学	前期	75	624	590	77	7.7
	後期	45	543	291	45	6.5		後期	15	143	96	16	6.0
岐阜大学	前期	55	531	500	55	9.1	大分医科大 学	前期	40	510	469	40	11.7
	後期	10	148	92	10	9.2		後期	30	505	170	30	5.7
浜松医科大 学	前期	60	446	414	61	6.8	宮崎医科大 学	前期	60	356	288	61	4.7
	後期	20	179	117	20	5.9		後期	40	549	200	40	5.0
名古屋大学	前期	80	384	368	82	4.5	鹿児島大学	前期	50	251	239	50	4.8
	後期	10	100	65	10	6.5		後期	35	243	141	36	3.9
三重大学	前期	70	376	340	74	4.6	琉球大学	前期	70	380	369	71	5.2
	後期	20	336	183	22	8.3		後期	25	294	275	23	12.0
		国立計		3,420	27,555	20,544	3,470						

ルスクール構想などは、その顕著な現れと思われる。

医学の知識、技能・技術や態度・マナーのすべてを大学の医学教育で教授・学習するとしても、

その人物の資質・素養が医師としての重要な要素になることになり、したがって入学者選抜に人物評価が大きなウエイトを占めることになる。

表1 2001年入試志願者数等状況(つづき)

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
金沢医科大学	20	56	55	18	3.1
愛知医科大学	25	39	39	25	1.6
藤田保健衛生大学	30	389	383	32	12.0
関西医科大学	20	61	60	20	3.0
近畿大学	10	208	200	16	12.5
兵庫医科大学	15	60	60	15	4.0
川崎医科大学	10	48		12	0.0
産業医科大学	28	92	92	24	3.8
久留米医科大学	10	62	59	10	5.9
福岡大学	22	97	92	21	4.4
編入					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
旭川医科大学	5	164	164	6	27.3
群馬大学	15	705	705	16	44.1
千葉大学	5	208	203	5	40.6
東京医科歯科大学	5	84	83	5	16.6

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
富山医科薬科大学	5	370	370	5	74.0
金沢大学	5	186	186	5	37.2
滋賀医科大学	5	454	422	5	84.4
大阪大学	10	206	186	11	16.9
神戸大学	5	139	139	5	27.8
島根医科大学	10	297	297	14	21.2
岡山大学	5	270	270	5	54.0
山口大学	10	440	104	11	9.5
高知医科大学	5	168	168	5	33.6
長崎大学	5	309	309	6	51.5
鹿児島大学	10	463	457	10	45.7
琉球大学	5	208	208	7	29.7
北里大学	若干	44	43	3	14.3
杏林大学	若干	62	57	4	14.3
東海大学	15	283	271	15	18.1
聖マリアンナ医科大学	若干	5	5	4	1.3
金沢医科大学	若干	74	62	5	12.4
愛知医科大学	若干			1	0.0

そこで、各大学とも学力試験にも増して、論文試験や面接試験に時間を割き、また高等学校時代の活動を知る調査書審査などいわゆる非学力試験の評価を重要視してきている。私立医科大学29大学で、2001年入試において小論文試験を課した大学は24校、面接試験は26校が課している。特に面接は、複数回行う大学6校、グループ面接を取り入れている大学6校で、個人面接がまだ主流とはいえ、面接試験を実施していない大学はわずかに3校であることから面接試験による人物評価を重要視していることが明らかである。もちろん、医学を学ぶに最低限は必要な知識を量る学力試験を軽視してはいないが、一定の学力を有した上で資質・素養が医師に相応しいかを量ることが、社会が求める医師を育成する重要な入口となるのである。

また、人格がある程度構築され、大学教育の経験を有し、幅広い知識と経験を備えたとされる大学卒業者を対象とする学士編入学試験も2001年には国立大学16校、私立大学6校で実施されており、この入試制度もある意味メディカルスクール構想に対応したものといえよう。

3. 日本医学教育学会主催「入学者選抜に関する討議会」

第17回、18回討議会は第12期選抜検討委員会(委員長 櫻井 勇)の企画で行った。

第17回は1998年8月29日、駿河台日本大学病院において、「学科試験科目のあり方」の主題で、68名の出席者により討議された。18回は1999年8月28日、駿河台日本大学病院において、主題「欧米における選抜と日本での活用」で開催し、約60大学の参加があった。

第19回、20回討議会は第13期選抜検討委員会(委員長 小口勝司)の企画で行った。

第19回は2000年8月26日、昭和大学において、主題は「適切な入学者選抜判定のあり方—面接、小論文、調査書の取り扱いとその意義—」であった。当日の参加者は68名で、活発な質疑応答が行われた。20回は2001年8月25日、昭和大学において「特色ある適性試験」の主題で行われた。参加者は51名であり、AO入試の現状と課題、精神科医から見た適性試験の意義と問題点、各大学における特色ある適性試験についての報告がなされ、活発な質疑応答が交わされた。